

南会津 のうりんニュース



今月の写真：「やまざくら」(下郷町戸赤集落)

下郷町戸赤集落の戸石川沿いの山には、明治時代から地区住民の方々で守り抜いてきた樹齢100年を越える山桜の群生があります。

戸赤集落の山桜は、開花時期には写真愛好家などが訪れる、南会津地方における桜の名所の一つです。

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・ 戸赤村づくり実行委員会が「豊かなむらづくり顕彰」受賞!!
 - ・ 館岩土地改良区が表彰されました!!
 - ・ ひと冬越して、更に美味しい「ゆきぐに農業」♪
 - ・ 「あさひっ子」が教えてくれたこと!!
 - ・ 南会津の花づくりについて考える!!
 - ・ 大豆加工で地域ブランド商品づくり!!
 - ・ 接客の決め手はボディ・ランゲージ!
- 農林事務所からのお知らせ
 - 平成20年4月から南会津農林事務所の組織が変わりました
- 人事異動のお知らせ

平成20年4月23日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

戸赤村づくり実行委員会が 「豊かなむらづくり顕彰」受賞!!



佐藤県知事、村西福島民友新聞社長を囲み記念撮影する戸赤村づくり実行委員会代表者と関係者ら

集落等におけるむらづくり及び農業生産活動において顕著な業績を収めている団体をたたえる平成19年度の「豊かなむらづくり顕彰」に、下郷町の「戸赤村づくり実行委員会」などが選ばれました。

戸赤村づくり実行委員会では、集落のシンボルとなっている山桜をライトアップした山桜まつりの開催や、廃校となった小学校を再活用した宿泊交流施設「やまざくら学校」での都会の子供たちの自然体験活動の受け入れ等、集落のありのままの自然や地域資源を活かしたむらづくり活動に地域住民が一体となって取り組まれたことが評価され、今回の受賞に至

りました。

去る3月19日、福島市の杉妻会館において行われた表彰式には、実行委員会を代表して、星盛雄委員長と星光美副委員長が出席し、福島県知事賞と福島民友新聞社長賞を受賞されました。

今後のさらなる活動により、戸赤集落はもとより周辺地域も含め、集落の活性化につながっていくことが期待されます。

(企画部、農業振興普及部)

館岩土地改良区が表彰されました!!

去る3月18日、福島県土地改良会館において、平成19年度福島県農地等集団化推進協議会総会が開催され、館岩土地改良区が表彰されました。

平成19年3月に完了しました、県営経営体育成基盤整備事業塩ノ原地区での取り組みが優秀ということで、表彰式には、館岩土地改良区 星利一理事長が出席され、表彰状及び記念品を受けられました。

館岩土地改良区は、ほ場整備による土地所有者と担い手農家の合意形成に尽力され、集団化率、担い手への利用集積率共に目標を達成し、地域農業の活性化に大きく寄与したことが高い評価を得ました。

近年、農業を取り巻く環境は厳しく、多くの課題に直面しておりますが、地区の将来に向けた新しい農業と農村づくりの発展が期待されます。

(農村整備部)



ひと冬越して、更に美味しい

「ゆきぐに農業」♪

新たな発想を活かして、南会津地方の冬の寒さや雪を利用・克服し、南会津地方の「冬の農業」を創出するため、平成19年度に取り組んできた「南会津地方“ゆきぐに農業”調査検討事業」の検討会を、去る3月17日に開催しました。

地域農業者にご協力いただいた「冬期間の農業に関する意向・実態調査」の結果報告では、冬期間においても農業活動によって農業所得を増やしたい等のご意見が多く寄せられたことが報告されました。

また、南会津地方の地域資源である「困い野菜」(雪室や雪中に貯蔵した野菜)の活用を検討した「困い野菜等利活用のための調査分析事業」の結果報告では、ダイコン・ネギ・ハクサイについて、保存期間の11月から2月までの栄養成分の変化(糖含量やビタミンC、遊離アミノ酸含量)などの分析結果が報告されました。各野菜では遊離アミノ酸含量(旨み成分)の増加が見られました。なかでもハクサイについては、商品として十分に販売可能なことが報告されました。

その他、夏・秋・初冬のイチゴ栽培の可能性を検討した「田島高等学校における鉄骨ハウス活用事業」、また青森県の「冬の農業」の取り組みについての視察結果なども報告・検討されました。

次年度は、ハウスを活用した展示ほの設置などを予定していますが、農林事務所では、冬期間の栽培だけでなく農産物直売加工活動も含め、冬期間の農業収入に意欲のある農業者や地域と連携・協力し、新たな取り組みを積極的に推進していく予定です。

(企画部、農業振興普及部、森林林業部)

「あさひっ子」が教えてくれたこと!!

去る2月28日、只見町立朝日小学校において、昨年7月9日に3年生16名が参加して行われた「田んぼの生き物調査」や春・冬のバードウォッチングで見つけた様々な生き物についての発表が行われました。発表は自作の絵を用いながらクイズ形式で行われ、保護者も多数参加しての楽しいひとときとなりました。

農林事務所では、子どもたちに田んぼや水路などで生き物に直接触れ、観察することによって自然の仕組みや生命の大切さについて学ぶ機会を提供し、自然の宝庫である自分たちが住む農村を大切に思う心を育ててもらえるように、地元小学校と連携した田んぼの生き物調査を継続してまいります。

(農村整備部)



南会津の花づくりについて考える!!

去る3月12日、南会津町御蔵入交流館において、今後の南会津の花づくりをみんなで考えようをテーマに「南会津地域花きセミナー」を開催し、管内の生産者約50名を含む80名が講師のお話に熱心に耳を傾けました。

まず、一昨年も同町で講演をされている松山誠さん(千葉県在住)が「今後の産地間競争に勝ち残るには!？」と題して講演され、これまでの



「花の価値」は市場価格などで評価されてきたが、これからは、自分たちの花づくりへのこだわりや自信、自分自身の評価をどのように情報発信するかがポイントになると話されました。

次に、昭和村でカスミソウを栽培している菅家博昭さんが「南会津の花づくりをみんなで考えよう!」と題して講演され、社会が求めている情報をしっかりキャッチして、社会に合わせていく部分(環境志向、トレンドなど)と自分たちの取り組みを見直していく部分を整理して産地強化を図っていくことの重要性について話されました。

参加された生産者からは多くの質問が出され、今後の活動へ向け多くのヒントを得ていただけたセミナーになりました。今後の南会津の花づくりに注目してください!

(農業振興普及部)

大豆加工で地域ブランド商品づくり!!

南会津農業・食品産業連携産品開発交流会を3月6日、下郷ふれあいセンターで開催し、県ふるさと産品アドバイザー高橋博良氏による「地域特産品の開発と製造・販売のポイント」の講演と下郷町産「おおすず」や南会津町産「タチナガハ」などを原料に(有)福泉堂浅井菓子舗(下郷町)や手づくり工房あくいーる(只見町)、とうふ屋豆の子(会津若松市)が試作した大福や団子、パンや豆乳などの試食及び意見交換を行いました。

この交流会は地産地消による地域ブランドの商品開発と大豆の生産振興を図るため開催したもので、大豆生産者や農産加工に取り組む農業者、大内宿観光協会や湯野上温泉民宿組合・旅館組合の会員等約40名が参加しました。



(3ページに続く)

(2ページから続く)

なお、本交流会は平成17年度から開催していますが、平成17年度に試作した下郷町産大豆100%の豆腐や厚揚げは平成19年4月から販売(JA直売所よろっしえ、下郷町物産館、大内宿)が開始されています。

(農業振興普及部)

接客の決め手はボディー・ランゲージ!

「いらっしゃいませ!!」の声とともに接客の練習を行いました。

この取り組みは南会津直売所加工所ネットワークの会員を中心に南会津郡の直売所の組織員を対象に南会津町会津田島ふれあいステーションプラザで3月13日に開催されたもので、当日は30名の参加がありました。

セミナーは「あたり前のレベルを上げよう～接客と

クレーム対応～」という題で直売所における接客態度について、喜多方市のオフィス・ユートイライズ主宰大関ちか子さんから講義と実技指導を受けました。

先生から「最初の印象はボディーランゲージで決まるのでお客様が店員に声のかけやすい態度をしましょう」と説明され、参加者は緊張した面持ちでお辞儀の練習等を行い、普段何気なくしていた接客について改めて意識することができました。

また、当日は南会津直売所加工所ネットワークの総会も開催され、新会長に「道の駅たじま」の大竹弘義さんが選ばれました。

(農業振興普及部)

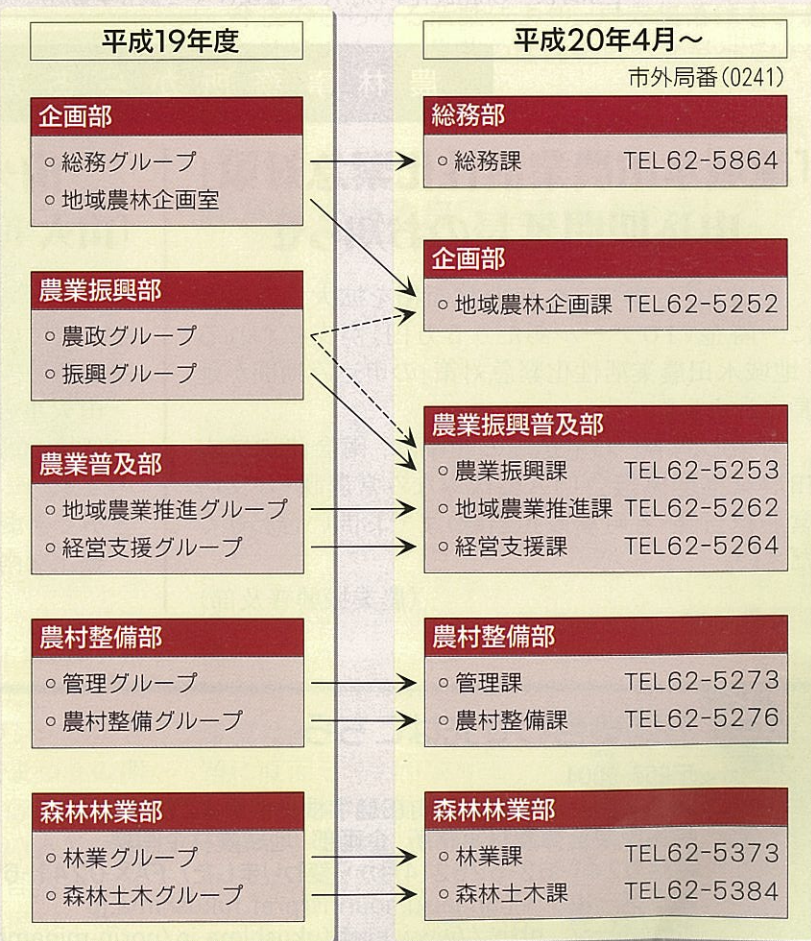


農林事務所からお知らせ

平成20年4月から南会津農林事務所の組織が変わりました

見直しの概要

- ◆ 農業者等が利用しやすく、かつ、従来の農業振興業務及び農業普及業務が一体となった対応が可能となるよう、農業振興部及び農業普及部を統合して、農業振興普及部を新設しました。
- ◆ 部局横断的な行政需要に対応し、また、ふくしま食・農再生戦略を推進するため、企画部を農林業に関する企画調整業務を専管するセクションとします。あわせて、農業振興部が所管していた農業振興地域の整備に関する法律、農地法関係、JAS法に基づく食品表示及び団体指導に係る業務等については、企画部に業務を移管しました。
- ◆ 庶務・経理業務を分掌する総務部を新たに設置しました。
- ◆ 「グループ」を廃止し、新たに「課」を設置しました。



人事異動のお知らせ

4月の人事異動等により28名が転出し、27名が新たに配属となりました。

転入者 (カッコ内は旧所属です)	
● 総務部	齋藤康博(県中農林事務所) 菅野威洋(教育庁教育総務領域)、阿久津源八(喜多方工業高等学校)、大津加拓(新採用) 和気幸悦(嘱託運転手)
● 企画部	斎藤潤一(森林林業領域)、佐藤達也(新採用)
● 農業振興普及部 (南郷普及所)	服部実(会津農林事務所)、遠藤文夫(会津坂下農業普及所)、富塚いづみ(会津保健福祉事務所) 橋本真史(郡山萌世高等学校)、星佐多男(専門員) 荻野憲一(ふくしま自治研修センター)
● 農村整備部	坂下幸男(県南農林事務所)、宗形弘康(県中農林事務所)、草野浩一(県北農林事務所) 星泰彦(農業総合センター)、武藤進(専門員)、渡部寛守(専門員)
● 森林林業部	宮川信行(森林林業領域)、大久保圭二(森林林業領域)、湯田正紀(会津農林事務所) 小林正光(会津農林事務所)、大松健一郎(会津農林事務所)、渡辺浩(県中農林事務所) 齋藤利光(会津農林事務所)、山田誠(新採用)

転出者 (カッコ内は転出先です)	
● 企画部	鈴木伸司(退職)、稲留薫(農業短期大学校) 山岸直子(教育庁教育総務総室)、本多洋崇(会津保健福祉事務所)、田中尚(県北農林事務所)、星紀夫(退職)
● 農業振興部	渡部利助(退職)、立川正明(県北農林事務所)、相原友里(南会津地方振興局) 赤塚康雄(須賀川農業普及所)、遠藤千秋(会津地方振興局)
● 農業普及部 (南郷普及所)	五十嵐竹男(退職)、伊東晃一(会津坂下農業普及所) 星源昭(農業支援総室)
● 農村整備部	豊田裕(県南農林事務所)、服部猛(会津農林事務所)、仙波均(退職) 小沼典男(会津南部ほ場整備事務所)、渡辺覚(会津総合病院)
● 森林林業部	熊谷建一(相双農林事務所)、佐藤守(森林林業総室)、渡部正明(林業研究センター) 森田健弥(会津農林事務所)、齋藤直樹(県中農林事務所)、大竹城二(いわき農林事務所) 水野俊一(県南農林事務所)、齋藤渡(いわき農林事務所)、成田善之(相双農林事務所)

農林事務所からのお知らせ

「地域水田農業活性化緊急対策」 申込期間延長のお知らせ

平成20年産で、生産調整面積を拡大する場合に一時金(10アールあたり5万円)が支払われる「地域水田農業活性化緊急対策」の申込み期間が延長されました。

対策の内容、お申込みの詳細は、南会津地域水田農業推進協議会(JA会津みなみ営農課・各支店営農担当課・各町農政担当課)までお問い合わせください。

(農業振興普及部)

山火事を予防しましょう!!

「山火事は 地球の未来も 燃やします」

これからの季節は、空気が乾燥し、山火事が発生しやすい時期になりました。山菜採りなどで山に入るときには火の取扱いに注意しましょう。

山火事の原因は、「たばこの投げ捨て」や「たき火の延焼」など、そのほとんどが人の不注意によるものです。一人ひとりが注意すれば、山火事を防ぐことができます。

豊かな南会津の森林を守りましょう。

(森林林業部)



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 0241-62-5252(4月から変わりました) FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>



ふくしま食と農の絆づくり運動

みなさんのご意見・ご感想を
お寄せください。



この広報誌は
SOY(大豆油)インキを
使用しています。